

梅毒感染症に対するベンジルペニシリン(ステルイズ®)の投与量について

産婦人科診療ガイドライン産科編 2023 改訂版に掲載した CQ613「妊娠中の梅毒の取り扱いとは？」の解説文中に梅毒治療に関する記載があり、記載内容に関して下記周知致します。

文中に『ベンジルペニシリン(ステルイズ®水性懸濁筋注 60 万単位シリンジ)』と記載しておりますが、ステルイズ®は 60 万単位の製剤に加え、240 万単位の製剤があり、**成人への投与は 240 万単位の製剤を使用すると**添付文書に記載されています。

また、日本性感染症学会の性感染症診断・治療ガイドライン 2020 では、**早期梅毒の場合は 240 万単位 1 回、後期梅毒の場合は 240 万単位 3 回（週 1 回 x 3 回）**と推奨されています。

今般、240 万単位の製剤ではなく 60 万単位の製剤を母体に投与したという事例の報告がありました。

会員の皆様におかれましては患者様への投与の際には製品に添付されている文書をご確認の上、ご投与いただきますようお願い申し上げます。

適切でない記載となっておりましたことをお詫び申し上げます。

令和 6 年 12 月 10 日

産婦人科診療ガイドライン運営委員会